単元名

ごんぎつね (全12時間)

単元構想図

学びのストーリー

ごんぎつねって、どんなお話かな?①②③④

題名読み
全文通読 (範読)

- ・きつねが出てくるんじゃない? ・「ごん」という名前のきつねが出てくるお話。
- ・悲しいお話だった。 ・兵十がごんを撃たなければよかったのに。
- ・なんでいたずらをしたのかな。悪いきつねだったけど変わった。 ・**ごんが変化していると思う。**
- ・**なんで引き合わないのにつぐないを続けたんだろう。** ・最後に気持ちが伝わってよかった。
- ・登場人物は、「ごん」「兵十」「加助」 ・物語は、茂平に聞いた話。 ひとりぼっちの小ぎつね。
- ・小ぎつねであり、子どものきつねではない。

登場人物・背景の確認など
一人読み (書き込み)

村人から見たごん

- ・いたずらをするから、悪いきつねだと思う。
- ・火をつけるなんてひどい。
- ・兵十のうなぎも逃した。

ごんは、どんなきつねなのかな?悪いきつねなのかな?⑤

ごんの気持ち

- ・でも、ひとりぼっちなんだよ。
- ・森の中の穴に、一人で住んでいるよ。
- ・寂しいから、いたずらしたんじゃないのかな。

ごんには悪気がなくても、村人には悪いきつねだったんだ

なぜ引き合わないのにつぐないをしたのかな?⑥⑦⑧⑨(本時)

ごんの気持ち		
どうしてつぐないをしたのかな?⑥	いつからつぐないを始めたのかな?何回?⑦	神様の仕業と言われてどんな気持ちだったの?⑧ どうして引き合わないのにつぐないをしたの?⑨
<ul style="list-style-type: none"> ・兵十がおつかあにあげるはずのうなぎを逃したからだと思うよ。 ・兵十も、自分と同じ一人ぼっちだと思ったから。 ・いわしを投げ入れたら、なぐられてしまったから。 ・おつかあに、食べさせることができなくて、あんないたずらしなけりゃよかったと思ったから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5回くらいかな。次の日もその次の日も、って続いている。 ・いわしを投げ入れたところ。うなぎのつぐないにいいことをしたと言っているから。 ・最初は投げ入れているけど、次は置いて帰っているから、ごんの気持ちは変化していると思う。ちゃんとつぐなおうと思ってる。 ・つぐないの気持ちが変化していると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・神様の仕業なんて言われて嫌だったと思う。 ・やっぱり、うなぎを逃して悪いことをしたなあと思っているから続けたんじゃないかな? ・いわしのときに、殴られているよね。 ・でも、それだけだったら、もういいんじゃない? ・兵十への気持ちが変わってきているかも。 ・兵十のかげぼうしをふみふみって書いてあるよ。 ・随分近くまで行っているんだね。なんでだろう。 ・兵十に、<u>気づいてほしいという惹かれる気持ちがあるのかも。だから続けているんじゃないかな。</u>
兵十との気持ちの距離 (ごんと兵十 曲線で表す)		
ごん...うなぎを逃したときよりも、少し近づいている。	兵十...いわしの後に、また少し近づいた。	ごん...すごく近づいていっている。すごく近いところまで行っている。でも、神様と言われて少し離れたと思う。
兵十...離れたまま。兵十は気づいていないから。ごんは悪いきつねだと思っている。	兵十...同じ離れたまま。兵十は気づいていない。	兵十...同じ離れたまま。兵十は気づいていない。

兵十の気持ちやごんの気持ちはどうだったのかな?⑩⑪

兵十の気持ち

- ・途中までは、またいたずらをされたと思っていた。
- ・でも、ごんが栗などを持ってきてくれていたと気づいたと思う。ばたりと銃を落としたから。

ごんの気持ち

- ・撃たれて嫌だったかもしれない。
- ・でも、うなぎをくれたから、嬉しかったと思う。
- ・兵十に気づいてほしかったから、気づいても伝えてよかったと思う。
- ・いたずらしたことを、後悔したと思うよ。

伝わった?

- ・伝わったと思う。
- ・やっぱり、うなぎをくれたから。兵十も見てる。
- ・銃を落としたから、気づいたんだと思う。

物語のその後を書こう⑫

- ・お墓を作ったんじゃないかな。
- ・加助に話をしたと思う。
- ・ごんの話語り継いだんじゃないかな。

願う子供の姿

- ・叙述を基に想像しながら、登場人物の正確や気持ちの変化を考えていくことができる姿。
- ・友達の考えと自分の考えや、場面と場面の登場人物の様子や気持ちなど、**比較**をしながら考えを深め変容を自覚していく姿。
- ・話し合いの中で自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりする中で、考えを深めていく姿。

授業デザイン

手立てや概念

3年生のときから書き込みをしてきたが、まだまだ難しい児童も多い。そのため、書き込みができていない児童のプリントを例示したり、机間指導をして支援したりし、全員がラインは引けるようにしていきたい。(叙述を基に考えるための手立て)

自己調整

感想から学習問題を見つけ、共有し、学習問題を自分たちで作る。

自己調整

本文を読んで見つけた気持ちや性格、情景に、進んでラインを引いたり、考えを書いたりする。

響き合う

- 話し合いの素地を整える
- ・クラスで話し合った、話すこと、聴くこと意識づけ
- ・相手の考えと自分の考えを比較すること
- ・友達の発言に対し、反応すること

自己調整

話し合いの後に振り返りを書き、自分の考えの変容や、友達の考えのよさなどに気付くことができるようにする。

響き合う

ごんの気持ちについて、叙述を基に意見の交流をする。

手立てや概念

自分の想像だけになってしまわないよう、どこからそう思ったのかを問い、叙述を基に考えることができるようにする。

手立てや概念

ごんと兵十の気持ちの距離を曲線でおさえることにより、気持ちの変化や、兵十とごんの気持ちのずれ違いに気づくことができるようにする。

高め合う

うなぎやいわしの償いのためだけでなく、兵十に気づいてほしい思いがあることに気づけるように、意図的な指名や叙述に目を向けることができるような手立てをしていく。

高め合う

兵十に気持ちが伝わったと考えている児童がほとんどだが、どこからそう考えるのか、叙述を意識するとともに、どうしてそう読み取れたかを伝え合うことができるようにする。

評価基準・評価方法

【知識・技能】

- ・本文を読み、分からない言葉を見つけ出し、国語辞典で調べて語彙を豊かにしている

【思考・判断・表現】

- ・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えを持つ。

【思考・判断・表現】

- ・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。
- ・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結びつけて具体的に想像している。
- ・文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人ひとりの感じ方などに違いがあることに気づく。

【学びに向かう力・人間性等】

- ・積極的に登場人物の気持ちの変化を想像し、学習問題に沿って物語の感想を書こうとしている。

<評価方法>

- 授業での発言・つぶやき
- ノートへの書き込みや、話し合いの感想

【学びに向かう力・人間性等】

- ・単元を通して学習したことを踏まえ、物語の後のことについて考え、書こうとしている。

<評価方法>

- ノートに書いた物語のその後